



2019

復活第68回（通算88回）

H I 盃 選 手 権 試 合  
全 三 菱 庭 球 大 会

2019年10月11日・12日・13日

三菱UFJ銀行 武蔵野コート  
東京海上日動 多摩コート  
日本郵船 飛田給コート

三 菱 庭 球 同 好 会



## HI 盃 NAVI 2019 (第7回)

### 創設 103 年 (通算 95 回) を迎える東西対抗戦

三菱倶楽部は、三菱合資会社、銀行部、鉱山部、造船部等と言われていた時代の 1914(T3)年に創設され各運動部が活動しましたが、当時はテニスをする人も現在と比べて非常に少ない状況でした。

1916(T5)年 9 月に第 1 回関東関西戦 (境界線は関ヶ原) が神戸で開催されました。試合当日は、不運にも雨に祟られ、中止やむなきに至りました。しかし、この懇親会において次回は東京、その次は名古屋で開催することが決まり、これが慣例となって、以後の試合は 3 地区で行われるようになりました。

本部庭球部も 1920(T9)年より硬式庭球を採用することになりましたが、軟式庭球に愛着の念断ち難い人々も相当いたので、関東関西戦で硬式が採用されたのは、1922(T11)年の HI 盃が創設された年になってからです (第 1 回 HI 盃は翌年)。

1925(T14)年、戸外運動部担当幹事荘田達弥氏の了解を得て、本部庭球経常費で銀製カップを作り、関東関西戦の優勝カップとしました。その後戦争による中断まで 27 回行われました。

1952(S27)年に HI 盃とともに東西対抗戦も復活しましたが、優勝カップは戦時下の金属回収令により供出されたものと思われ、現在の優勝旗に引き継がれました。

2018(H30)年大会までの通算成績は、関東 53 勝、関西 22 勝、中止 14 回、記録なし 5 回となっています。

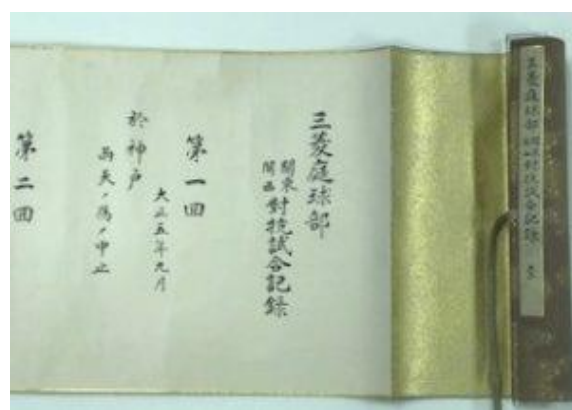
近年、同好会は男女シングルス、ダブルス、140 才・120 才トーナメントの充実を図り改革を進めて参りましたが、大会ルーツである東西対抗がこのところ参加減少の傾向にあり、この活性化が残る課題となっております。

本年は、大会 2 日目に東西対抗のエキシビジョンマッチを試行し、参加者の動向、ご意見をもとに新しい東西対抗のあり方を追求することにしましたので、皆様の積極的なご参加、ご提案を期待します (なお、エキシビを含めた土日両日参加の選手の皆さんに参加補助金増を検討中です)。

(文責：重工 牧村 祐一)



第 5 回関東関西戦 T9 年 7 月 名古屋倶楽部



関東関西戦記録の巻物 (三菱史料館保管)

## 目 次

H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	2
諸注意事項	5
大会次第	6
H I 盃選手権試合組合せ、女子シングルストーナメント組合せ	7
男子ダブルストーナメント組合せ、女子ダブルストーナメント組合せ	8
140才ダブルストーナメント組合せ	9
120才ダブルストーナメント組合せ	10
東西対抗試合組合せ	11
コート時間割	12
大会会場・懇親会会場案内図	15
2018年度 第67回 優勝者	18
H I 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	19
H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	20

### 開会式へ参加のお願い

第3日(10/13)出場予定の選手は、8:30から開会式を行いますので、必ずご参集ください。

### 本大会3日目のセキュリティ対策について

近年、各社VIPのご来場も増加していること、また大会に無関係な方の入場を防止する目的で、本年度より受付での来場者特定と目印配布をすることにいたしました。

- (1) 各社の来場者には受付にて目印（ネクストラップ）を配布し、会場滞在中に着用いただきます。（リボンを着用される方は除く）
- (2) 当日、なるべく円滑に受付ができるよう、各社には事前に把握できる範囲で来場者を申請いただいております。事前申請済みの来場者以外の方は、当日、お名前（フルネーム）および会社名をご記入いただき、目印を配布いたします。
- (3) あわせて、銀行武蔵野グラウンドへの入り口を一箇所（バス停留所付近）に統一し、正門（北側）はVIPを中心とした車の来場用のみとして利用します。

# H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社 三菱商事㈱  
三菱総合研究所㈱  
J X T G エネルギー㈱

## 1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月11日(金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート 郵船 飛田給コート	試合開始30分前
第 2 日 10月12日(土)	[H I 盃・女子シングルス] 1回戦 [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準々決勝 [東西対抗試合] エキジビジョンマッチ [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦	銀行 武蔵野コート	試合開始30分前
		海上 多摩コート	
第 3 日 10月13日(日)	開会式	銀行 武蔵野コート	8:30からの開会式 に必ずご参加ください *試合受付は開始 30分前までにお 願いします
	[H I 盃・女子シングルス] 準決勝・決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合・特別試合]		
	懇親会		

コート割、開始時間、会場案内はP12～P16をご参照下さい。

## 2. 役 員

委 員 長： 三菱庭球同好会会長 大 宮 英 明 (三 菱 重 工 業)

副 委 員 長： 戸 出 巖 (三 菱 商 事) 森 崎 孝 (三 菱 総 研)

同好会相談役： 岸 暁 (三 菱 U F J 銀 行) 畔 柳 信 雄 (三 菱 U F J 銀 行)  
井 手 明 彦 (三 菱 マ テ リ ア ル)

審 判 長： 武 田 彰 (三 菱 商 事)

副 審 判 長： 牧 村 祐 一 (三 菱 重 工 業)

H I 盃 委 員： 磯 田 卓 (東 京 海 上 日 動) 広 瀬 正 典 (三 菱 ケ ミ カ ル)  
野 村 利 明 (三 菱 自 動 車 工 業) 橋 本 達 哉 (三 菱 重 工 業)  
田 村 太 郎 (三 菱 商 事) 松 岡 信 幸 (三 菱 電 機)  
乙 川 勝 幸 (三 菱 マ テ リ ア ル) 沼 聡 (三 菱 U F J 銀 行)  
井 手 信 彦 (明 治 安 田 生 命)

H I 盃 地 区 委 員： [関 東] 佐 藤 慶 (三 菱 商 事) [中 京] 垂 水 健 康 (三 菱 重 工 業)  
[関 西] 田 中 顕 一 郎 (三 菱 電 機) [九 州] 横 濱 克 彦 (三 菱 重 工 業)

### 3. 参 加 会 社

AGC(株)	キリンホールディングス(株)	JXTGホールディングス(株)	東京海上日動火災保険(株)
(株)ニコン	日本郵船(株)	(株)ピーエス三菱	三菱アルミニウム(株)
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカル(株)	(株)三菱ケミカルホールディングス
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)	三菱商事(株)
三菱伸銅(株)	三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)	三菱倉庫(株)
(株)三菱総合研究所	三菱電機(株)	三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
三菱マテリアル(株)	(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)			(50音順)

### 4. 試 合 方 法

[使用ボール：ダンロップフォート]

種 目	資 格 等	試 合 方 式
(1) H I 盃 (男子シングルストーナメント)	前年優勝者、 地区代表 (関東3、関西2、中京1、九州1)	ベストオブ3タイブレークセットマッチ
(2) 女子シングルス トーナメント	前年優勝者、 地区代表 (関東5、中京1、九州1)	同 上
(3) 男子ダブルス	前年優勝者、 地区代表 (関東8、関西9、中京4、九州2)	予選・1回戦・準決勝 8ゲームスブレットマッチ 決勝 2タイブレークセット10ポイントマッチタイブレーク方式
(4) 女子ダブルス	地区代表 (関東5、関西1、中京2)  ※前年度は雨天中止のため、前年優勝者 枠の選出はなし	予選 8ゲームスブレットマッチ 準決勝・決勝 2タイブレークセット10ポイントマッチタイブレーク方式
(5) 140才ダブルス	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才 (※女子1人につき10才減ず る) 以上のペアによるブロック別リーグ 戦予選、決勝トーナメント	1タイブレークセットマッチ  ※予選に限りセミアドバンテージ方式、ミックス 同士の対戦においては、デイヤディングポイント はサーバーと同性のプレイヤーがレシーブす る。レシーブチームはデイヤディングポイントのとき、 レシーブする隊形を変えてはいけない。
(6) 120才ダブルス	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才 (※女子1人につき10才減ず る) 以上のペアによるブロック別リーグ 戦予選、決勝トーナメント	同 上
(7) 東西対抗試合	東軍 (関東以东)・西軍 (中京以西) 男子各20組、女子各3組による対抗戦	2タイブレークセット10ポイントマッチタイブレーク方式
(8) 特別試合	H I 盃選手権出場選手によるダブルス および女子シングルス出場選手による ダブルス	2タイブレークセットマッチ

## 5. ダブルスブロック内順位決定方法

### [男子ダブルス]

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

### [女子ダブルス]

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

### [120才ダブルス]

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

### [140才ダブルス]

- ① Aブロックは上位2組が、その他ブロックは上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

## 諸 注 意 事 項

### 1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P14～P16をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日（銀行コート）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) マイカーでの来場は厳禁です。
- (5) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。

### 2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用できませんので、お荷物は各自で管理してください。

### 3. 試 合 進 行

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないませんが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手呼び出し（場内アナウンス）はいたしませんのでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) 練習時間は、試合進行上、H I 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。

### 4. 審 判

- (1) H I 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上、使用ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

### 5. 昼 食

- (1) 全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてお手配ください。
- (2) ジュース等の空きカン・ペットボトル・ゴミは、所定の場所にお捨ててください。

### 6. D E F

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずDEFの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

### 7. 参 加 費

140才ダブルス、120才ダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円、その他関東地区の参加者は4,000円、関東以外は1,000円を各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

### 8. 雨 天 時 の 対 応

- (1) 最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、原則、各社（各自）単位でご確認ください。
- (2) 各日とも、開始時間の1時間前から各コートに大会幹事がおりますので各社連絡員から問合せください。選手から各社連絡員に連絡がつかない場合は、直接コートに問合せいただいても結構です。
- (3) 10月13日（日）が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ時間を早めて16:00から開催します。吉祥寺第一ホテル（TEL 0422-21-4411）にご集合ください。

## 大会次第 10月13日(日)

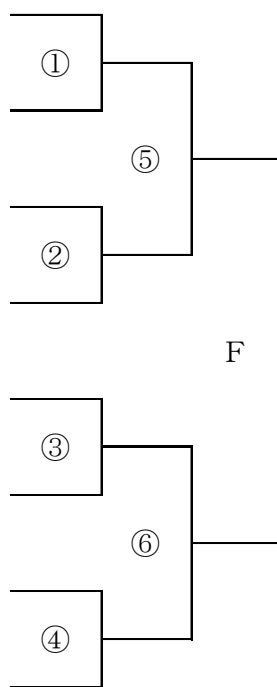
1. 開 会 式 (三菱UFJ銀行 武蔵野コート) ( 8 : 3 0 )
  - (1) 集 合
  - (2) 挨 拶 大宮大会委員長
  - (3) 優勝盃・優勝旗返還 大宮大会委員長
  - (4) 諸 注 意 武田審判長
  
2. 試合開始 (コート時間割をご参照) ( 9 : 0 0 )
  
3. 試合終了 (1 6 : 0 0 )
  
4. 閉会式及び懇親会 (吉祥寺第一ホテル 8階天平の間) (1 7 : 0 0 )
  - (1) 開会挨拶及び乾杯 森崎大会副委員長
  - (2) 優勝盃・優勝旗・賞品授与および優勝者挨拶
    - ① HI 盃優勝者
    - ② 女子シングルス優勝者
    - ③ 男子ダブルス優勝者
    - ④ 女子ダブルス優勝者
    - ⑤ 140才ダブルス優勝者
    - ⑥ 120才ダブルス優勝者
    - ⑦ 東西対抗試合勝者
  - (3) 閉 会 の 辞 戸出大会副委員長
  - (4) 万 才 三 唱 牧村副審判長
  
5. 閉 会 (解 散) (1 8 : 3 0 )
  
6. 記 念 撮 影  
懇親会終了後、HI盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員は記念撮影を行ない  
ます。



## HI 盃選手権試合 (男子シングルス)

1. 田川翔太 (関東・海上)
2. 大出康仁 (中京・電機)
3. 前田信二 (関東・銀行)
4. 西優馬 (関西・マテリアル)
5. 志賀正人 (関東・電機)
6. 河村悠太 (九州・重工)
7. 古田伊蓊 (関東・銀行)
8. 西改拓人 (関西・麒麟)

1 準 決  
回 決  
戦 勝 勝

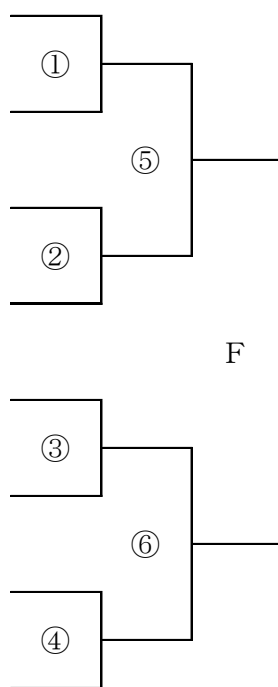


1911年創設  
岩崎彦彌太氏寄贈

## 女子シングルス

1. 田中文彩 (関東・生命)
2. 長寄晴香 (九州・生命)
3. 前原まりあ (関東・銀行)
4. 春山奈美 (中京・銀行)
5. 西田奈生 (関西・海上)
6. 菅光葉 (関東・銀行)
7. 足立真美 (関東・生命)
8. 橘梨子 (関東・生命)

1 準 決  
回 決  
戦 勝 勝



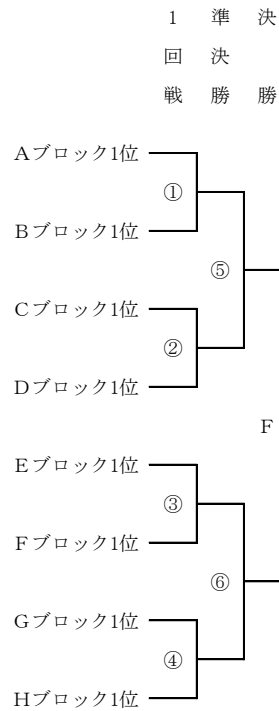
2014年創設  
岩崎美智子氏寄贈  
(寛彌氏ご令室)

## 男子ダブルス

### ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	高山・野田 (関東・生命)
	2	吉田・山田 (九州・重工)
	3	岩崎・徳本 (関東・生命)
Bブロック	1	杉山・萩原 (関西・重工)
	2	浦上・井上(善) (関東・海上)
	3	巽・松本 (関東・マテリアル)
Cブロック	1	塚原・橋本 (関西・銀行)
	2	荒木・丹波谷 (関西・電機)
	3	井上・廣田 (関東・銀行)
Dブロック	1	五嶋・竹内 (中京・重工)
	2	尾形・上村 (関東・生命)
	3	田中・滝沢 (関西・電機)
Eブロック	1	値賀・林 (中京・電機)
	2	光嶋・佃 (関西・重工)
	3	小山・神崎 (関西・電機)
Fブロック	1	今井・神田 (中京・重工)
	2	土佐・笠松 (関東・郵船、電機)
	3	市川・福岡 (関西・ガス化学)
Gブロック	1	干場・田元 (関東・生命)
	2	阿部・田所 (関東・銀行)
	3	江口・國定 (九州・電機)
Hブロック	1	大谷・川俣 (関西・ケミカル)
	2	上田・松井 (関西・電機)
	3	古田・野川 (中京・マテリアル)

### 決勝トーナメント



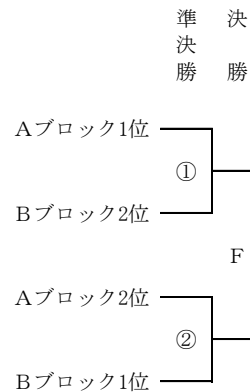
2006年創設  
三菱庭球同好会

## 女子ダブルス

### ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	吉場・香山 (関西・電機)
	2	牧野・吉田 (中京・電機、重工)
	3	宮地・橋川 (九州・銀行、生命)
	4	青木・藤田 (中京・自動車、生命)
Bブロック	1	藤井・田元 (関東・生命)
	2	横本・中村 (関西・銀行)
	3	関・粉川 (関東・銀行)
	4	泉水・後藤 (関東・生命)

### 決勝トーナメント



1972年創設  
岩崎操子氏寄贈  
(彦彌太氏令室)

140オダブルス

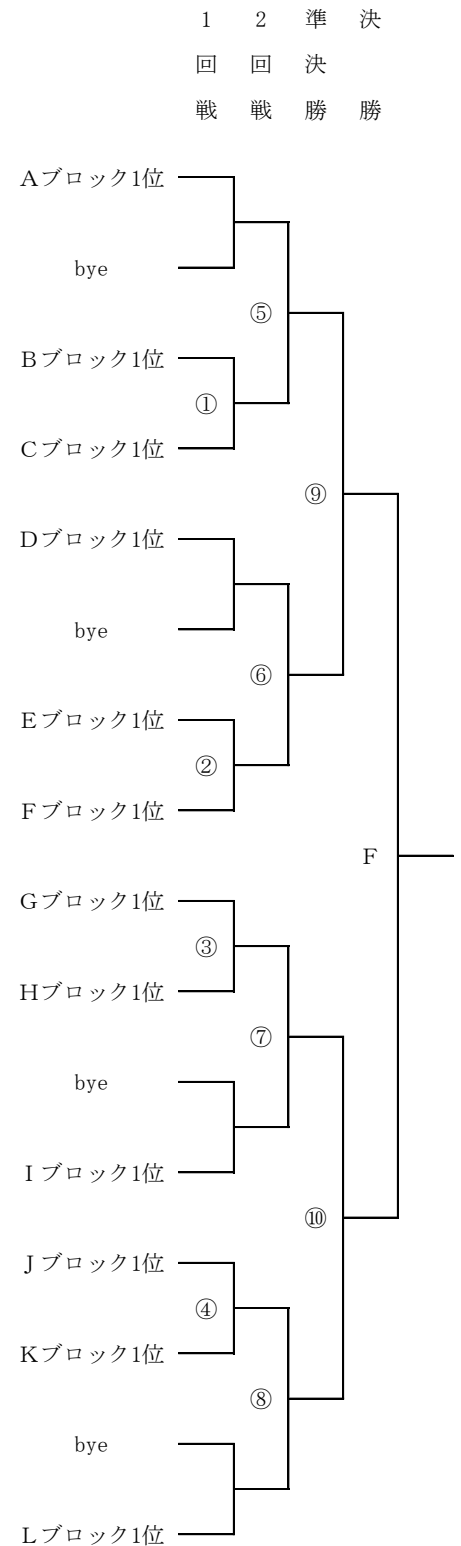
ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	君塚	・	海老名	(海上)
	2	武藤	・	佐々木	(重工)
	3	米田	・	渋谷	(マテリアル・商事)
Bブロック	1	前田	・	永田	(ケミカル・重工)
	2	唐澤	・	宮村	(商事)
	3	浦田	・	山本	(銀行)
Cブロック	1	木村	・	山川	(商事)
	2	大岸	・	長張	(ケミカル)
	3	柿原	・	鈴木	(銀行)
Dブロック	1	江口	・	岩田	(ケミカル)
	2	山辺	・	井上	(AGC)
	3	小宮	・	木村	(商事)
Eブロック	1	盛	・	武田	(商事)
	2	佐伯	・	柿原	(重工・ケミカル)
	3	大日方	・	草場	(銀行)
Fブロック	1	鈴木	・	石井	(生命・海上)
	2	田部	・	近藤	(ケミカル)
	3	横山	・	國房	(重工・商事)
Gブロック	1	西	・	安川	(商事)
	2	茅本	・	竹下	(ケミカル)
	3	田島	・	田中	(マテリアル)
Hブロック	1	飯野	・	有馬	(商事)
	2	生川	・	北田	(ケミカル)
	3	早乙女	・	服部	(重工)
Iブロック	1	淀川	・	田畑	(重工)
	2	武藤	・	赤沼	(AGC)
	3	下永	・	大原	(自動車)
Jブロック	1	毎野	・	花生	(商事)
	2	金子	・	上井	(AGC)
	3	桑田	・	天目	(信託)
	4	金子	・	平岡	(マテリアル)
Kブロック	1	田中	・	比原	(重工)
	2	今井	・	大西	(ケミカル)
	3	岡本	・	永桶	(商事)
Lブロック	1	東	・	瀧口	(重工・ケミカル)
	2	鬼頭	・	井口	(銀行)
	3	藤本	・	田村	(商事)



1983年創設  
岩崎寛彌氏寄贈  
(彦彌太氏令息)

決勝トーナメント



120オダブルス

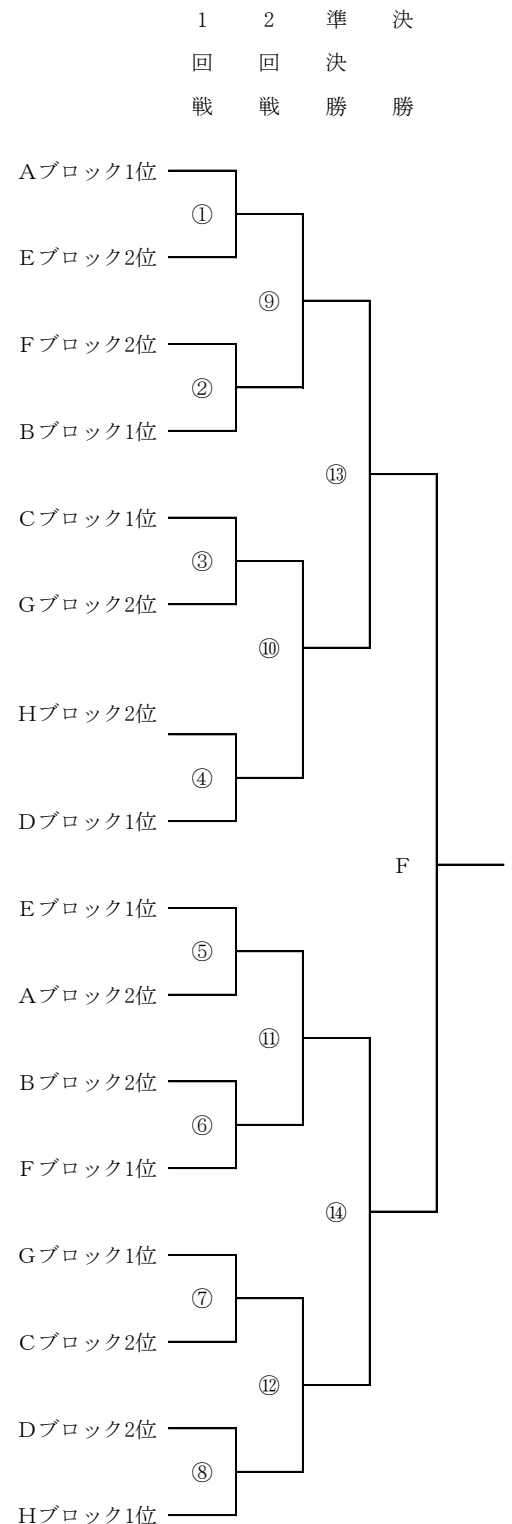


1952年創設  
岩崎彦彌太氏寄贈

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	大塩・松山	(銀行)
	2	半田・井上	(AGC・生命)
	3	渡邊・山岸	(商事)
	4	福寺・箱崎	(信託)
Bブロック	1	岩渕・乙川	(マテリアル)
	2	羽倉・小林	(銀行)
	3	長島・石井	(海上)
	4	若林・唐澤	(商事)
Cブロック	1	加納・本間	(AGC)
	2	西岡・遠藤	(海上)
	3	柏木・矢部	(商事)
	4	茂木・松村	(銀行)
Dブロック	1	佐藤・東城	(海上)
	2	平山・池田	(マテリアル)
	3	福田・中村	(AGC)
	4	藤井・岡部	(電機)
Eブロック	1	牧村・阿部	(重工・海上)
	2	村松・石井	(信託・海上)
	3	安福・浅葉	(電機)
	4	野田・新子	(商事)
Fブロック	1	加藤・直木	(電機)
	2	織田・大門	(商事)
	3	村松・酒井	(信託)
	4	佐々木・久保	(マテリアル)
Gブロック	1	中村・小林	(電機)
	2	森田・高渕	(自動車)
	3	今西・佐久間	(商事)
	4	田辺・種田	(JX)
Hブロック	1	伊藤・茶谷	(重工・電機)
	2	矢野・三島	(ケミカル)
	3	黒井・小島	(商事)
	4	西岡・遠藤	(海上)

決勝トーナメント



※ 下線は女子

# 東西対抗試合

## <男子ダブルス>

	東	軍		西	軍
1.	鈴木	(マテリアル)	-	平田	(重工)
	目黒	(マテリアル)		寺田	(重工)
2.	星村	(生命)	-	西村	(重工)
	大塚	(生命)		宇藤	(重工)
3.	細江	(生命)	-	占部	(重工)
	松下	(生命)		森永	(重工)
4.	有松	(マテリアル)	-	高橋	(生命)
	加藤	(マテリアル)		樋口	(生命)
5.	佐藤	(銀行)	-	泉水	(ケミカル)
	廣田	(銀行)		新田	(ケミカル)
6.	湯浅	(商事)	-	岡本	(ケミカル)
	相川	(商事)		伊藤	(ケミカル)
7.	塚本	(銀行)	-	西田	(商事)
	有泉	(銀行)		斎藤	(商事)
8.	亀岬	(商事)	-	上本	(海上)
	岸	(商事)		藤井	(重工)
9.	藤山	(海上)	-	倉澤	(銀行)
	今永	(海上)		榎本	(銀行)
10.	伊東	(海上)	-	佐藤	(重工)
	高橋	(海上)			
11.	石谷	(ふそう)	-	南	(銀行)
	吉川	(ふそう)		堤	(重工)
12.	中島	(電機)	-	平	(重工)
	伊澤	(電機)		島	(重工)
13.	佐藤	(化工機)	-	難波	(重工)
	菅原	(化工機)		碓	(重工)
14.	橋本	(重工)	-	藤田	(ケミカル)
	小杉	(重工)		山田	(ケミカル)
15.	宮村	(JX)	-	山脇	(重工)
	蛭田	(JX)		山本	(重工)
16.	広瀬	(ケミカル)	-	河合	(AGC)
	桑田	(ケミカル)		吉本	(AGC)
17.	篠崎	(ケミカル)	-	中川	(重工)
	三富	(ケミカル)		鎌田	(電機)
18.	村上	(自動車)	-	小川	(重工)
	村山	(自動車)		須田	(重工)



1952年創設  
三菱庭球同好会

## <男子ダブルス>

	東	軍		西	軍
19.	山地	(JX)	-	岡本	(電機)
	日比野	(JX)		分校	(電機)
20.	木村	(電機)	-	中島	(重工)
	行成	(電機)		柳瀬	(重工)

## <女子ダブルス>

	東	軍		西	軍
1.	金子	(生命)	-	杉本	(電機)
	森	(生命)		伍井	(電機)
2.	早野	(海上)	-	笠原	(銀行)
	角田	(海上)		松田	(銀行)
3.	柏木	(銀行)	-	有田	(海上)
	榊原	(銀行)		井出	(商事)

## <特別試合>

男子ダブルス

{		-	{
---	--	---	---

女子ダブルス

{		-	{
---	--	---	---

第1日(10月11日) コート時間割

		海上コート					
		1	2	3	4	5	6
10:00	120オラウンドロビン (A,B,C,D,E,F,G,H)						
	120才 (ブロックリーグ)						
10:45	A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	C1-C2	C3-C4	
	120才 (ブロックリーグ)						
11:25	D1-D2	D3-D4	E1-E2	E3-E4	F1-F2	F3-F4	
	120才 (ブロックリーグ)						
12:05	G1-G2	G3-G4	H1-H2	H3-H4	A1-A3	A2-A4	
	120才 (ブロックリーグ)						
12:45	B1-B3	B2-B4	C1-C3	C2-C4	D1-D3	D2-D4	
	120才 (ブロックリーグ)						
FB	E1-E3	E2-E4	F1-F3	F2-F4	G1-G3	G2-G4	
	120才 (ブロックリーグ)						
FB	H1-H3	H2-H4	A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3	
	120才 (ブロックリーグ)						
FB	C1-C4	C2-C3	D1-D4	D2-D3	E1-E4	E2-E3	
	120才 (ブロックリーグ)						
FB	F1-F4	F2-F3	G1-G4	G2-G3	H1-H4	H2-H3	
	120才 (ブロックリーグ)						

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

		郵船コート				
		1	2	3	4	5
10:00	140オラウンドロビン (A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L)					
	140才 (ブロックリーグ)					
10:45	A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2	E1-E2	
	140才 (ブロックリーグ)					
11:25	F1-F2	G1-G2	H1-H2	I1-I2	J1-J2	
	140才 (ブロックリーグ)					
12:05	J3-J4	K1-K2	L1-L2	A1-A3	B1-B3	
	140才 (ブロックリーグ)					
12:45	C1-C3	D1-D3	E1-E3	F1-F3	G1-G3	
	140才 (ブロックリーグ)					
FB	H1-H3	I1-I3	J1-J3	J2-J4	K1-K3	
	140才 (ブロックリーグ)					
FB	L1-L3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3	
	140才 (ブロックリーグ)					
FB	E2-E3	F2-F3	G2-G3	H2-H3	I2-I3	
	140才 (ブロックリーグ)					
FB	J1-J4	J2-J3	K2-K3	L2-L3		
	140才 (ブロックリーグ)					

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

第2日(10月12日) コート時間割

銀行コート												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
9:00	140才(1回戦)				120才(1回戦)							
9:45	①	②	③	④	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
10:30	140才(2回戦)				120才(1回戦)	120才(2回戦)				120才(2回戦)		
	⑤	⑥	⑦	⑧	⑧	⑨	⑩	⑪				
11:15	女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)				120才(2回戦)			
	A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2	⑫			
12:00	女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)				エキシビジョンマッチ			
	A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4	A1-A3	B1-B3	C1-C3	D1-D3	①	②	③	
12:45	女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)				エキシビジョンマッチ			
	A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3	④	⑤	⑥	
13:30	HI盃(1回戦)				女子シングルス盃(1回戦)				エキシビジョンマッチ			
									⑦	⑧	⑨	
14:15	①	②	③	④	①	②	③	④	エキシビジョンマッチ			
									⑩	⑪	⑫	
15:00									エキシビジョンマッチ			
									⑬	⑭	⑮	
15:45	エキシビジョンマッチ											
	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	

海上コート				
	1	2	3	4
9:00	男子ダブルス(ブロックリーグ)			
9:45	E1-E2	F1-F2	G1-G2	H1-H2
10:30	男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3
11:15	男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	E2-E3	F2-F3	G2-G3	H2-H3

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

第3日(10月13日) コート時間割

銀行コート											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30	開会式(必ずご参加ください)										
9:00	HI盃 (準決勝)		女子シングルス (準決勝)		男子ダブルス (1回戦)				東西対抗 男子ダブルス		
9:30					① ②		③ ④		1	2	3
10:00	⑤ ⑥		⑤ ⑥		女子ダブルス (準決勝)		140才ダブルス (準決勝)		東西対抗 女子ダブルス		東西対抗 男子ダブルス
10:30							⑨ ⑩		1	3	20
11:00	男子ダブルス (準決勝)		東西対抗 男子ダブルス		①	②	120才ダブルス (準決勝)		東西対抗 男子ダブルス		
11:30	⑤ ⑥		4 5				⑬ ⑭		6	7	8
12:00	東西対抗 男子ダブルス										
12:30					9	10	11	12	13	14	15
13:00			140才 ダブルス (決勝)	120才 ダブルス (決勝)	特別試合		東西対抗 男子ダブルス				東西対抗 女子ダブルス
13:30					男子 ダブルス	女子 ダブルス	16	17	18	19	2
14:00	HI盃 (決勝)		女子 シングルス (決勝)		女子 ダブルス (決勝)	男子 ダブルス (決勝)	懇親試合				
14:30											
15:00											
15:30											
16:00											
16:30											
17:00	懇親会 (於 吉祥寺第一ホテル)										
17:30											
18:00											
18:30											

○注意事項

1. 出場選手は、必ず開会式にご参加ください。  
ただし、東西対抗出場選手等で、当日移動の方は除きます。
2. 練習時間は、試合進行上、HI盃および女子シングルスは5分以内、  
その他は3分以内といたしますので厳守ください。
3. 進行は、本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。
4. 大会役員の方は、11:30より銀行コートのクラブハウス2会にて昼食会を行います。  
HI盃および女子シングルス出場選手は選手紹介を行いますのでご参集ください。
5. 懇親試合をご希望の方は、大会本部までお申し出ください。

【バス利用】

- ①15:50 銀行コート⇒吉祥寺第一ホテル
- ②16:10 銀行コート⇒吉祥寺第一ホテル
- ③16:30 銀行コート⇒吉祥寺第一ホテル



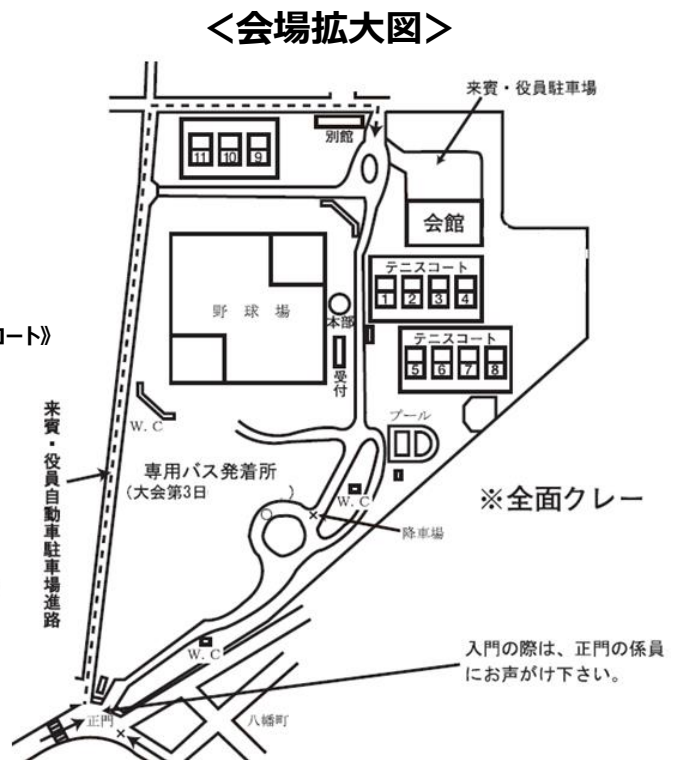
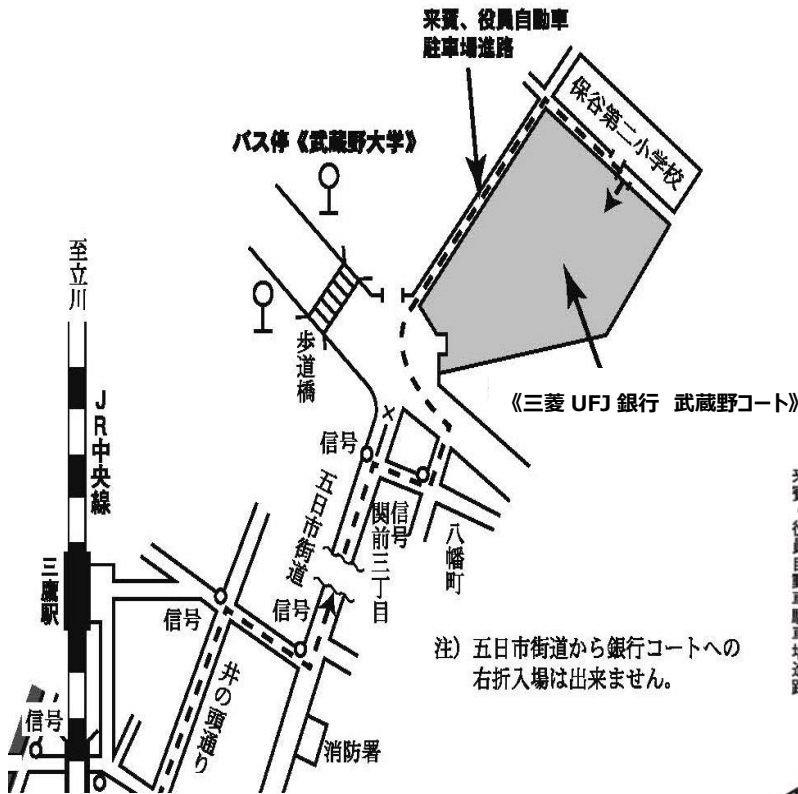
# 大会会場案内図（1）

## 《三菱UFJ銀行 武蔵野コート》

東京都西東京市柳沢4-4-40  
TEL: 0424-61-0770

**マイカーでのご来場は厳禁です**

- ・銀行コート駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定します。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んで下さい。



### ● 10月13日（日）銀行コートとのアクセス

- (1) 第2日(10/12)は専用バスの配車はいたしませんので、各自お越してください。
- (2) 第3日(10/13)は専用バスを運行しますので、ご利用ください。

#### 〈三鷹駅⇒銀行コート⇒懇親会場間の連絡バス〉

発車		到着		備考
7:40	三鷹駅	7:55	銀行コート	各便 大型1台
7:50	三鷹駅	8:05	銀行コート	
8:10	三鷹駅	8:25	銀行コート	
15:50	銀行コート	16:20	吉祥寺第一ホテル	
16:20	銀行コート	16:50	吉祥寺第一ホテル	
16:50	銀行コート	17:20	吉祥寺第一ホテル	



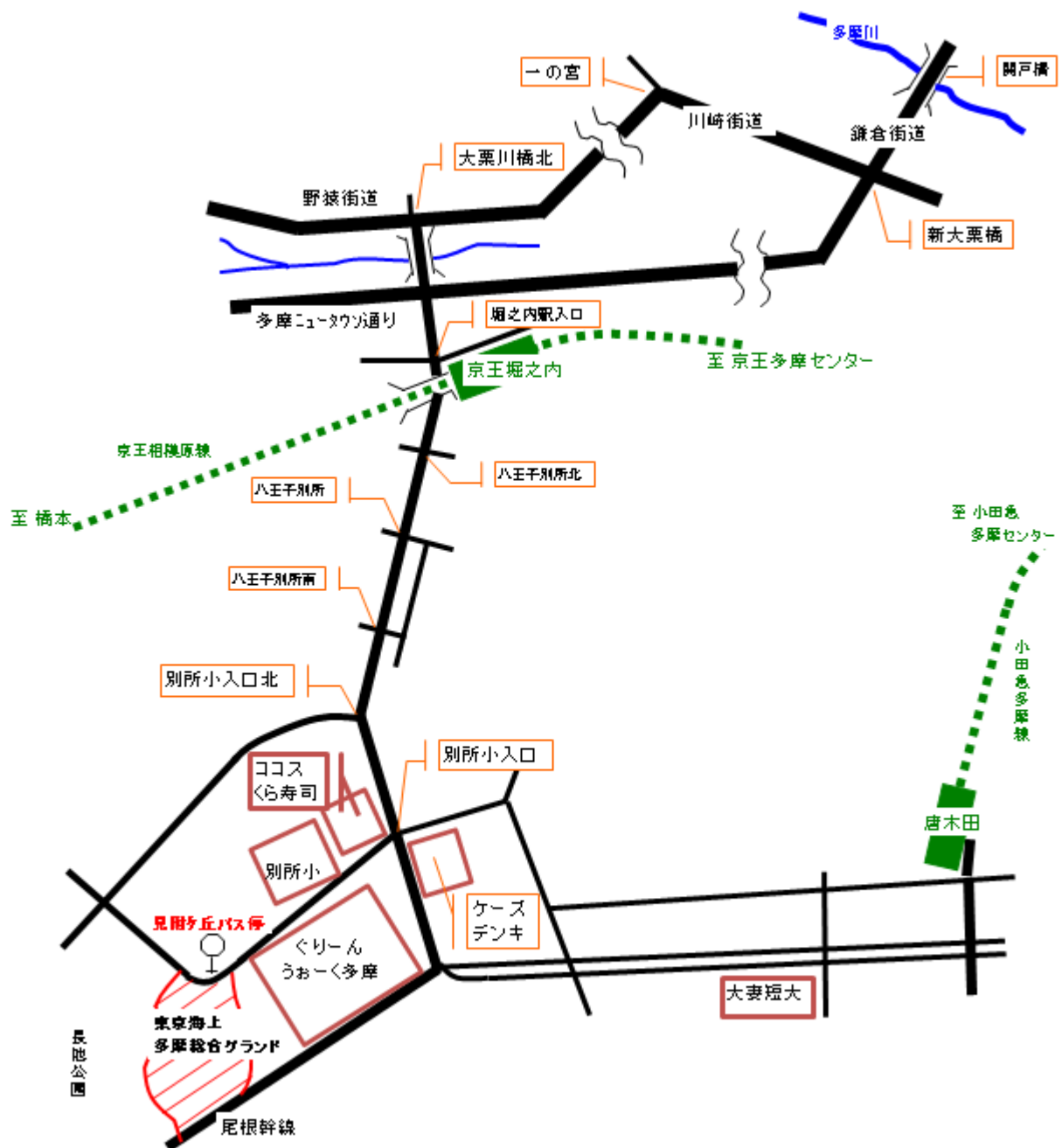
## 大会会場案内図（２）

### 《東京海上多摩総合グラウンド》

- ◆ 住所：八王子市別所2-57（電話：0426-77-8619）
- ◆ 施設：テニスコート、クラブハウス（男女各シャワー室、更衣室）
- ◆ 交通

京王相模原線「京王堀之内」駅より バス（「見附橋循環」のりば4番）にて「見附ヶ丘」下車  
または、タクシー。

京王相模原線「京王堀之内」駅または小田急多摩線「唐木田」駅よりタクシー

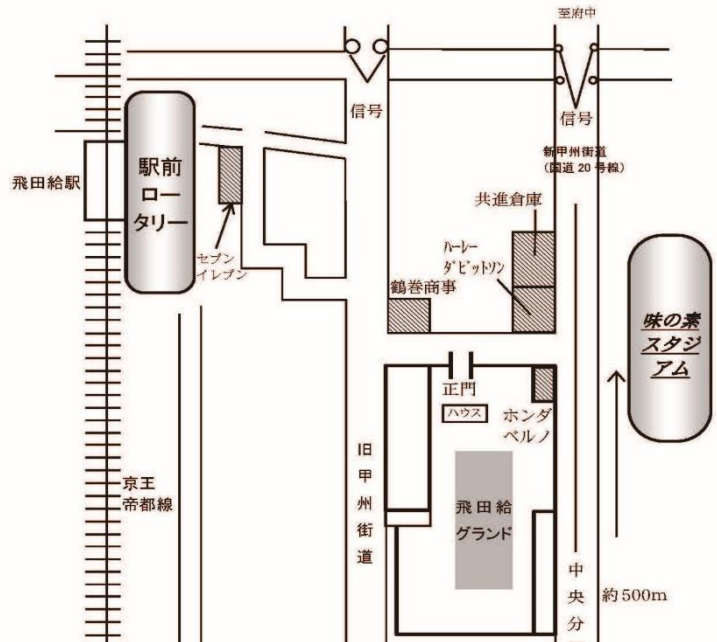


## 大会会場案内図（3）

### 《日本郵船 飛田給コート》

東京都調布市飛田給 1-54-1  
 （京王線「飛田給駅」下車 徒歩約5分）  
 TEL：0424-82-3152

マイカーでのご来場は厳禁です



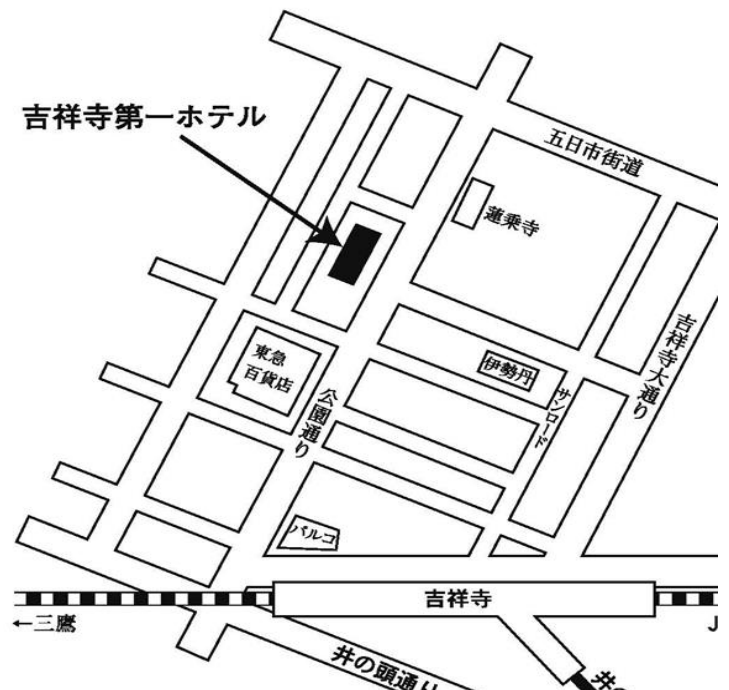
### 《懇親会会場 案内図》

#### 吉祥寺第一ホテル 天平の間

東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-4-14  
 （JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 徒歩約5分）  
 TEL：0422-21-4411

駐車場は、大会役員および来賓のみ利用可能です。

1階玄関前は大変混雑いたしますので、懇親会閉会後は速やかなご移動をお願いいたします。



## 2018年度 第67回 優勝者

< >内はプレゼンター



H I 盃 田川翔太選手 (海上)  
<北沢社長 (海上)>



女子シングルス 田中文彩選手 (生命)  
<根岸社長 (生命)>



男子ダブルス 高山・野田ペア (生命)  
<島村社長 (AGC)>



女子ダブルス 本郷・森ペア (生命)  
<三毛頭取 (三菱UFJ)>



140 オダブルス 東 (重工)・前田ペア (ケミ) 120 オダブルス 伊藤・宮川ペア (重工)  
<竹内会長 (マテリアル)>



<畔柳相談役 (三菱UFJ)>

## H I 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H I 盃選手権試合の歴史は、1922年（大正11年）にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルを戴き、

「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年（大正12年）、このH I 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H I 盃選手権試合）が開催されました。



その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で88回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が1916年（大正5年）から開催されており、本大会は今年で102年目を迎えます。1952年（昭和27年）の復活第1回H I 盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為1943年（昭和18年）から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられました。1972年（昭和47年）には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年（昭和58年）には、岩崎寛彌様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130オトーナメント」（2013年（平成25年）から「140オトーナメント」に変更）が設けられました。2006年（平成18年）には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして2014年（平成26年）に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのH I 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ29社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。

### **H I 盃の表記について**

H I 盃は、創設時の「H. I. ロンドンカップ」から「H. I. カップ」、「H. I. 盃」、「H I 杯」、「H I 盃」等、10周年、30周年記念誌や大会プログラムで様々に表記、呼称されて参りました。

そこで2001年の50周年記念誌では、H. I. は、岩崎彦彌太氏のイニシャル表記であるが、既に「エイチアイ」の呼称は広く浸透し、固有名詞化ともいえることからイニシャル表記のコンマを省略し、「H I 盃」で統一いたしました。

今般、ホームページの創設にあたっては、この50周年時の考え方をもとに改めて「H I 盃」で統一表記とし、今後は本表記を踏襲することにしました。

これを受け、本年から大会プログラムも同様の表記とすることがH I 盃委員会です承されました。

## H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

### I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手 捨二 (商事取締役)	岩永 侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口 泉吉 (重工神戸造船所長)	青木 岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本 辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山 正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田 達弥 (造船研究所長)	岩永 侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺 則麿 (重工神戸造船所長)	青木 岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好 重道 (製鉄取締役)	神田 道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室 宗文 (銀行常務取締役)	青木 岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田 達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺 則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好 重道 (製鉄取締役)	志村 彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中 金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間 亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤 梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井 喬介 (重工社長)	石井 小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村 彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村 彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野 文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷 一彌・関沢 房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村 亮・扇山 忠男	27	記録なし

## Ⅱ. 復活後

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東京	石黒 俊夫 (本社精算人)	藤倉 五郎 (金商)	100才→	岩崎彦 彌太・ 山岸 成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神戸	藤井 深造 (新重工社長)	藤倉 五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉 普一 (電機社長)	藤倉 五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東京	石黒 俊夫 (地所社長)	藤倉 五郎 (金商)		西・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大阪	古村 誠一 (金属鋳業社長)	藤倉 五郎 (金商)		西・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東京	高垣 勝次郎 (商事社長)	藤倉 五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大阪	伊藤 保次郎 (鋳業社長)	寺岡 健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鋳業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東京	桜井 俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東京	柴田 周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大阪	浜川 友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東京	藤岡 信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東京	千頭 暎臣 (信託社長)	藤井 道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大阪	藤野 忠次郎 (商事社長)	藤井 道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東京	河野 文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東京	野村 義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セメント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東京	有吉 義彌 (郵船社長)	藤井 道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東京	牧田 与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東京	田実 涉 (銀行会長)	大日方 昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東京	藤野 忠次郎 (商事社長)	藤井 道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東京	中田 乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東京	古賀 繁一 (重工会長)	宮川 善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東京	古賀 繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイオン)		田中・寛 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東京	古賀 繁一 (重工会長)	有沢 三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	小柳 健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャブ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	HI盃	140オトーナメント	120オトーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀 繁一 (重工相談役)	小柳 健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部 文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分	
33	1984 昭和59	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部 文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木 永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木 永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木 永二 (化成会長)	岩原 慎二 (化成)	川崎・笥 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木 永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田 庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分	
41	1992 平成4	飯田 庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田 庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田 庸太郎 (重工会長)	田村 太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分	
44	1995 平成7	飯田 庸太郎 (重工相談役)	杉本 長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田 庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村 正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村 正哉 (マテリアル会長)	古村 賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村 正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村 正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	古村 賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	古村 賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田 信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原 健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手 明彦 (マテリアル社長)	藤田 瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	
59	2010 平成22	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)	近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12	
60	2011 平成23	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)	高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9	



回数	年 度	委員長	H1盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西対抗戦
6 1	2012 平成24	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊 藤・矢 野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星 村・狩 谷 (生命)	関西 13-12
6 2	2013 平成25	井手 明彦 (マテリアル会長)	福田 健司 (電機)		東・田 中 (重工)	赤 沼・本 間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣 田・横 山 (電機)	関西 11-8
6 3	2014 平成26	井手 明彦 (マテリアル会長)	田川 翔太 (海上)	鍋谷 昌栄 (生命)	田 中・永 田 (重工)	近 藤・矢 野 (化学)	奥 間・ 関 (銀行)	神 谷・星 野 (キリン)	関西 11-8
6 4	2015 平成27	井手 明彦 (マテリアル相談役)	古田 陸人 (マテリアル)	木川 里奈 (生命)	織 田・藤 井 (商事・電機)	堀 田・多 屋 (海上)	松 田・泉 水 (生命)	駒 田・廣 田 (電機)	関東 12-11
6 5	2016 平成28	井手 明彦 (マテリアル相談役)	田川 翔太 (海上)	松本 千広 (生命)	江 口・近 藤 (化学)	本 間・半 田 (硝子)	松 田・泉 水 (生命)	上 村・尾 形 (生命)	関東 16-9
6 6	2017 平成29	大宮 英明 (重工会長)	田川 翔太 (海上)	松本 千広 (生命)	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高 山・野 田 (生命)	雨天中止
6 7	2018 平成30	大宮 英明 (重工会長)	田川 翔太 (海上)	田中 文彩 (生命)	東・前 田 (重工・ケミカル)	宮 川・伊 藤 (重工)	本 郷・ 森 (生命)	高 山・野 田 (生命)	関東 13-10

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京